



平成29年1月26日

医療政策課感染症・がん対策班
担当：泉、竹野
内線：2466
電話：095-895-2466（直通）

インフルエンザ流行注意報を発表しました ～医療機関あたり患者報告数19.33人となり10人を上回る～

平成29年第3週（1月16日～22日）の定点あたりのインフルエンザの患者報告数（平均患者数）が「19.33」※となり、注意報レベルの「10.0」を上回りました。患者報告者数は0歳～9歳の報告が約36%、10歳～14歳が24%を占めています。

今後、さらに流行拡大が予想されますので、県民へ予防策等の広報について、ご協力をお願いします。

※全報告数：1353（人）／県内定点医療機関数（70施設）

【インフルエンザ予防策等】

～かからない～

- 外出後は手洗いをしましょう。
- インフルエンザのワクチン接種は発症予防、重症化防止に有効なことから希望される方は早めに接種しましょう。（効果の出現までに2週間程度を要します）
- 体力が低下しないように十分な栄養と休養をとりましょう。
- 室内を乾燥させないようにし、また定期的に換気を行いましょう。

～うつさない～

- インフルエンザを広げないために『咳エチケット』を心がけましょう。
 - ※ 咳・くしゃみが出たら、他の人にうつさないためにマスクを着用する。マスクを持っていない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔を背けて、1m以上離れる。
 - ※ 鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てる。
 - ※ 咳・くしゃみは、手で覆わず、衣服の袖でおさえる。
 - ※ 咳をしている人にマスクの着用をお願いする。

～早期受診～

- インフルエンザにかかったなと思ったら早めに医療機関を受診しましょう。
- 無理をして学校や職場などに行かないようにしましょう。

【過去5年間の注意報発令時期】

期 間	長崎県	全国
2016/17シーズン	第 3週 （ 1. 16～ 1. 22）	第 1週 （ 1. 2～ 1. 8）
2015/16シーズン	第 4週 （ 1. 25～ 1. 31）	第 3週 （ 1. 18～ 1. 24）
2014/15シーズン	第51週 （12. 15～12. 21）	第51週 （12. 15～12. 21）
2013/14シーズン	第 3週 （ 1. 13～ 1. 19）	第 3週 （ 1. 13～ 1. 19）
2012/13シーズン	第 2週 （ 1. 7～ 1. 13）	第 2週 （ 1. 7～ 1. 13）
2011/12シーズン	第 3週 （ 1. 16～ 1. 22）	第 3週 （ 1. 16～ 1. 22）

【直近の県内インフルエンザ患者報告数(保健所管内別)】

2016/17 シーズン	長崎県										
	長崎市	佐世保市	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	壱岐	対馬	
第3週 (1.16～1.22)	19.33 (1353)	25.82 (439)	23.36 (257)	15.83 (95)	13.4 (134)	22 (176)	11.5 (46)	5.8 (29)	7 (21)	21.33 (64)	30.67 (92)
第2週 (1.9～1.15)	9.11 (638)	11.06 (188)	7.91 (87)	4.83 (29)	7.4 (74)	11.75 (94)	9.5 (38)	5.4 (27)	3.33 (10)	8 (24)	22.33 (67)
第1週 (1.2～1.8)	6.89 (482)	6.76 (115)	5.09 (56)	1.83 (11)	5.7 (57)	15.63 (125)	9 (36)	8.2 (41)	2 (6)	2.33 (7)	9.33 (28)
第52週 (12.26～1.1)	4 (280)	3.18 (54)	3.09 (34)	4 (24)	2.4 (24)	8.25 (66)	8.25 (33)	3.2 (16)	3.67 (11)	1 (3)	5 (15)
第51週 (12.19～12.25)	3.19 (223)	3 (51)	3.82 (42)	3.83 (23)	2.7 (27)	4.88 (39)	7 (28)	0.8 (4)	1 (3)	0.33 (1)	1.67 (5)

※表内数値の上段は定点当りの患者報告数、下段()内は患者総数(人)

【定点医療機関からの年齢別患者報告数(人)】

	0-9歳	10-14歳	15-19歳	20代	30代	40代	50代	60代 以上	計
第3週	485	325	154	71	80	74	57	107	1353
第2週	199	115	73	59	46	38	34	74	638
第1週	115	40	58	64	51	45	39	70	482
第52週	50	39	68	24	26	31	17	25	280
第51週	55	57	31	23	16	16	12	13	223

【ウイルス検出情報】

国立感染症研究所インフルエンザウイルス分離・検出状況によると、今シーズンの流行型は、A/H3が約9割を占めています。県内でも収集されたほとんどの検体から、A/H3型を検出しています。

【国立感染症研究所が定めるインフルエンザ流行レベルの目安】

【流行入り: 定点値1.00を上回った時】

- インフルエンザ定点医療機関当りの1週間の報告数が「1.00」以上の場合、流行入りしたことの目安

【注意報レベル: 定点値10.0を上回った時】

- インフルエンザ定点医療機関当りの1週間の報告数が「10.0」以上の場合、以降4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いことを表します。

【警報レベル: 定点値30.0を上回った時】

- インフルエンザ定点医療機関あたりの1週間の報告数が「30」以上の場合、大きな流行の発生、または継続しつつあることが疑われることを表します。なお、警報は1週間の報告数が「10」となるまで継続し、「10」を下回った時点で自動的に解除されます。

長崎県インフルエンザ発生動向 (2016/2017シーズン 第3週 1月16日~22日 現在)

合計 / インフルエンザ定当

